今日もたべた？本ごはん

めざせ100さつ！

東郷小学校　図書館だより　　平成２４年度　２月号

暦の上に春は立ちながら…

２月３日は“節分”です。もともと節分とは，季節の分かれ目の意味で，立春・立夏・立秋・立冬の前日をいいましたが，今ではとくに立春の前日のことをいいます。邪気をはらい，福を呼び込もうと豆をまき，イワシの頭をヒイラギの小枝にさして戸口におき，悪鬼が入ってくるのをふせぐ風習もあります。

もう暦の上では春をむかえますが，まだまだ寒い日がつづきます。２月は雪の降る日も多い月です。そんな寒～い日はあたたかい部屋で，ホットココアと本が１さつあれば楽しく過ごせそうですね♪

おしらせ　2月の図書室お休みの日：毎週火曜日と18日

※8日は午前中のみ（昼休みはあいていません。）

☆今月のスペシャルデーは15日！4さつ借りられます☆

※図書室お休みの前の日と金曜日は2冊借りられます。

２月の詩

ポポン…

まど・みちお

タンポポは　いつも
ポポン…　と咲いているように見える
人間などが　生まれるまえの
ずうっと　大昔から

ほんとは　ついこの間
地球のこのへんに　すむ人たちが
タンポポと　名づけてからのことなのに

もしも　その人たちが
タンケロと　名づけたのだったら
たぶん　いまごろ
ケロン…　と咲いていたろうに

また　もしも
タンボヤと　名づけたのだったら
ボヤッ…　と咲いていたろうに

タンポポが　ポポン…　と咲いている
おや　あそこの田んぼの　あぜでは
あんなに　ポポン　ポポン…と
わたげの花火うちあげて　よんでいる
―みんな　おいでえ！
タニシの　うちに
あかちゃんが　うまれたよう！

中山のイチオシ★

『おおきな木』　原題は・・・？？

よんでみて！

『おおきな木』（シェル・シルヴァスタイン　作・絵／本田錦一郎　訳　篠崎書林）。

これは1976年に出版された本なので，「子どもの頃に読んだ！」という，おとなのみなさんもいらっしゃるのではないでしょうか。でも，おはなしの内容はなんとなく覚えてるけど…，意外と知られていないのが，この本の原題。ご存じの方，いらっしゃいますか？この本の原題は“THE GIVING TREE”，直訳すると「与える木」といいます。「むかし　りんごのきが　あって…　かわいい　ちびっこと　なかよし。」で始まるこの本。いつでもそこにあるりんごの木。成長し，変わっていく少年。それでも木は，少年に惜しみなく愛を与えつづけた―。

その物語の中に何を感じるかは，読む人の自由です。でも，おとなになってあらためて，この本を読んでみると，愛は与えるもの，もちろん誰かに愛してほしいし，やさしくされたいけれど，自分が愛してこそ，その先に幸福があるのではないかと感じずにはいられませんでした。さて，この『おおきな木』，2010年にあの村上春樹による訳で新版が出ています！読みくらべてみるのも，おもしろいですよ☆

2月 おすすめの本

バレンタインデー特集

～「好き」をつたえよう～

1さつめ！

「好き」と表現することのたいせつさ―。

『どんなにきみがすきだか あててごらん』

サム・マクブラットニィ 文　アニタ・ジェラーム 絵　評論社

チビウサギはベッドに行く途中，デカウサギに聞いてみたくなりました。「どんなに，きみがすきだか あててごらん」「こんなにさ」と，腕を思いきりのばすチビウサギに，「でも，ぼくは，こーんなにだよ」と，腕をのばすデカウサギ。背のびしたり，飛び上がったり，どんなに相手を好きか言い合うのです。最後にデカウサギが言ったことばに胸キュンです♪おとなの心もあたためてくれる絵本☆

2さつめ！

「すきなら，すきと　いってやればよかったのに・・・」

『ずーっと ずっと だいすきだよ』

ハンス・ウィルヘルム 絵/文　久山太市 訳　評論社

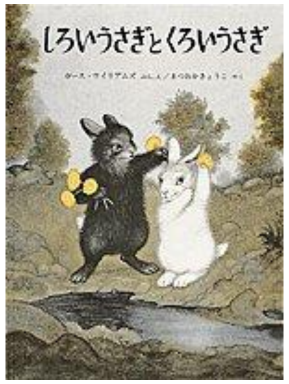
エルフィーとぼくは，いっしょに大きくなった。年月がたって，ぼくの背がのびる一方で，愛するエルフィーは太って動作もにぶくなっていった。ある朝，目がさめると，エルフィーが死んでいた。深い悲しみにくれながらも，ぼくには，ひとつ，なぐさめがあった。それは・・・。

3さつめ！

小さなうさぎたちが“真実の愛”を見つけるまで―

『しろいうさぎとくろいうさぎ』

ガース・ウイリアムズ 文/絵　まつおかきょうこ 訳　福音館書店



しろいうさぎとくろいうさぎ，2ひきの小さなうさぎが広い森の中にすんでいました。毎朝，2ひきは寝床からはね起きて，朝の光の中へ飛び出していきました。そして，一日中，いっしょに楽しく遊びました。でも，あるとき，くろいうさぎは，とても悲しそうな顔をしました。「うん，ぼく，ちょっと　かんがえてたんだ」――。

4さつめ！

きみに・・・・・・・・・・ぼくは・・・！！

『ラブレター物語』

丘修三 作　ささめやゆき 絵　小峰書店

メールではありません。レターです。手紙。

好きな人に自分の想いを伝えたくて，一生けんめい，自分のことを表現した文章，それが恋の文です。文字にすることが，とてもたいせつなのです。人と人とのふれあいは，一通の手紙から……。

「最後の思い出」「トンちゃん」など６つのおはなし。

5さつめ！

小学生のトキメキをとことん応援する一冊！！

『「好きです。」コクるかコクらないか、それが問題だ！』

齋藤孝 著　　ＰＨＰ研究所

キミは誰かを好きになったことはあるかい？その気持ちをどうしたらいいか，困ってしまっただろう？でも，誰でも人を好きになるのだから，慌てる必要はない。キミの困った気持ちを解決する方法はちゃんとあるんだ。好きな子ともっと仲良くなろう！初めて人を好きになった子も，そうでない子も，この本でさらにステージアップ！